

市政のここが聴きたい！

一般質問

9議員が登場

傍聴者延べ113名

一般質問とは、議員が市政全般にわたり市長をはじめ執行機関側に、事業の執行状況や将来の方針などを質問し、説明を求めるものです。

※一般質問の様子もホームページで録画配信中ですのでご覧ください。

問 市民には健康寿命を延ばし、元気で豊かな人生を築いて欲しい。健康寿命の基本的な考え方は、

答 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を健康寿命と定義している。健康長寿社会の実現に向け、生活習慣病の予防と早期発見、運動、歯の健康、心の健康づくり、食生活改善などに取り組み、

2025年問題への対応は

問 人の一生は限られているが、人の思いは世代を超える。私達は日高の未来に対し、より良いものを伝えていく責任がある。2025年問題とは、あと7年で戦後世代の最もボリュームが厚い、団塊の世代が75歳以上になり、人類史上経験したことのない超高齢社会に突入すること。その2025年の高齢者数及び高齢化率の見込みは、

答 高齢者数は平成29年の1万7千374人に対し、2025年には1万8千398人、1千24人の増加。高齢化率は平成29年の30.8%に対し、35.0%、4.2ポイント上昇すると推計。国の高齢化率よりも5ポイント高くなる。

問 増大する社会保障費の財源確保は今後の大きな課題。介護給付費の現状と将来の見込みは、

答 平成28年度決算の保険給付費は約31億2千万円を支出。2025年度には約54億2千万円に達すると推計。

問 政府推計では2040年の社会保障給付費が190兆円になる。その頃85歳以上の高齢者人口は現在の2倍以上になる見込み。そのことから2025年問題のその先も、厳しい状況が待っている。今後、介護や医療のかじ取りをどのように進めていくのか、市長の考えは、

答 この問題は一自治体の取組で解決できるものではないが、市民が長い期間、健康で過ごす健康寿命を延ばすことが何より大切。そのためには介護予防や生活改善、保健事業の充実などに、これまで以上に取り組む。深刻な問題だが知恵を出し合って乗り越え、市民のみなさんが高齢になっても住み慣れた日高市で、安心して暮らせるように努めていく。



つなげよう明るい未来



健康寿命を延ばし、
元気で豊かな人生を

山田 一繁